

第35回技術研究発表会

I 論文
II プロジェクト・技術報告

参加無料
発表演題
(論文, 報告)を
募集します



エントリー期間

2023年 5月15日(月) ~ 6月30日(金)17時締切

テーマ

スマート技術を活用した ウェルビーイングなまちづくり

会場

3×3 Lab Future (※)

住所：東京都千代田区大手町1-1-2
大手門タワー・ENEOSビル1階
最寄：JR東京駅、メトロ 大手町駅

CPD認定

日本都市計画学会 *発表者・共著者は発表者としての単位取得可
土木学会

応募方法

エントリー書類をUIT事務局へメールにてご提出ください

提出先・問い合わせ

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 事務局
住所：東京都文京区関口1-23-6
(一財)都市みらい推進機構 内
Tel：03-5261-5625 Fax：03-5261-5629
E-mail：uit@uit.gr.jp

主催・後援

主催：アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
協賛：三菱地所株式会社
後援：国土交通省、東京都、独立行政法人都市再生機構
一般財団法人都市みらい推進機構

(CPD・協賛・後援：申請予定)



発表分野 (予定)

- I 論文
◇ 環境・エネルギー 部門
◇ 情報・防災・交通 部門
◇ まちづくり・都市の再興 部門
- II プロジェクト・技術報告
- III 共通セッション
* I、IIの演題のうち共通セッションに
該当するとみなされた演題

www.uit.gr.jp

スマート技術を活用した ウェルビーイングなまちづくり

政府の成長戦略としてsociety5.0の実現が掲げられて以降、スマートシティの実現に向けて官民が連携し、IoT、AI、5G等の新技術を活用したDXが進められています。脱炭素やダイバーシティ&インクルージョンといった社会的要請に加え、約3年にわたる新型コロナウイルス感染症の災禍により、テレワークが進展する等、価値観や生活スタイルの多様化が進んでおり、こうした動向を踏まえた基盤整備やまちづくりがより一層求められています。

政府も、デジタル田園都市国家構想を掲げ、デジタル基盤の整備等を行いながら、地域の魅力をそのままに、大都市の利便性と地域の豊かさを融合した、誰一人取り残されないまちづくりを推進しており、その評価にあたってはウェルビーイングを数値化・視覚化する指標が活用されることとなっている等、都市部・地方部含め、ウェルビーイングの実現に向けたまちづくりの動きが活発化しています。

このような観点から、第35回技術研究発表会は「スマート技術を活用したウェルビーイングなまちづくり」をテーマとして開催いたします。

※ウェルビーイング：個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。
(厚生労働省資料から参照)

応募種別

I 論文

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する先端的な技術を適用した事例や都市づくりに関する構想等をわかりやすく平易に表現した論文 *原則として未発表のもの(梗概・論文・発表データの作成、発表)

II プロジェクト・技術報告

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する技術開発、先端的な技術を適用した事例や都市づくりに関する構想等をパワーポイントや映像により報告・内容説明 (梗概・発表データの作成、発表)

応募資格

- 一般企業：原則として当推進会議の会員
- 国、地方公共団体、研究機関、各種団体 等
- 大学(研究者・大学院生)、学識経験者 等

- 産・官・学等の協働の事業プロジェクト 等
- 国から推薦を受けたもの
- 当推進会議の会員から推薦を受けたもの

審査分野

I 論文 (各部門の名称は予定)

- ◇環境・エネルギー 部門
- ◇情報・防災・交通 部門
- ◇都市の再興・まちづくり 部門

■審査分野(I)および発表分野(I II III)は、
エントリー締め切り後、論文審査委員会・技術研究発表委員会にて振り分ける

発表分野

I 論文 (各部門の名称は予定)

- ◇環境・エネルギー 部門
- ◇情報・防災・交通 部門
- ◇都市の再興・まちづくり 部門

II プロジェクト・技術報告

III 共通セッション

*I、IIのうち共通セッションに該当するとみなされた演題

選考・表彰

I 論文

- 選考：論文審査委員会において論文審査の後、採択された論文は、第35回技術研究発表会において論文発表を行う
- 表彰：第35回技術研究発表会において論文発表をおこなった論文の中から、各分野ごとに優秀賞(各1)、奨励賞(各1~2程度)を閉会式にて発表し、表彰する

エントリー・HP

- エントリー：募集要項やエントリーフォーム等はHPよりダウンロード可
- 提出先：UIT事務局 uit@uit.gr.jp
- HP：技術研究発表会関連情報や過去の論文・梗概が閲覧可

